

スポ推の

広島市 実務研修会

令和7年2月2日（日） コジマホールディングス中区SC 大体育室
令和7年2月22日（土） 西区SC 中体育室において

「広島市 実務研修会とは？」

地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の振興の為、各学区におけるスポーツ活動の指導・普及を目的とし、ニュースポーツの技術および初心者指導のノウハウを習得するとともにスポーツ推進委員としての資質の向上を図ると言う趣旨で、広島市のおおよそ全てのスポーツ推進委員がどちらかの開催会場に参加する研修会です。

今回の研修会の種目は

広島で生まれた平和を希求するスポーツ、「エスキーテニス」です！
皆さんはご存じですか？平和を希求？エスキーテニス？広島発祥？
恥ずかしながら私は詳しくは知りませんでした。



原爆投下からちょうど3年後の1948年8月6日に平和への願いを込めて、生まれたスポーツが「エスキーテニス」です。

考案者は当時120もの新案特許権を持っており広島で名の通った実業家だった、宇野本 信（うの もと まこと）です。

原爆により当時13歳の愛娘を亡くした失意の中、広島県の行政関係者をはじめ、原爆被害からの復興を目指すメンバーから「原爆で廃墟となった広島の子供達に楽しみを与えるスポーツを作って欲しい」と依頼され「スポーツを通して平和を」との願いを込めて、試行錯誤の末、創り出したスポーツが「エスキーテニス」です。

（日本エスキーテニス連盟 文章 抜粋）

エスキーテニスはコートが小さい為、体力的な負担も小さく老若男女幅広い世代が一緒に楽しむことができ、ビルの屋上や駐車場スペースなどわずかな空間があれば、屋内外を問わず短時間でも手軽にプレイできます。と連盟の案内にはありますが、真面目にちゃんと本気でプレイすると・・・結構な運動量です(笑)

今回、お手伝いそして講師をして頂いた広島県エスキーテニス連盟と日本エスキーテニス学生連盟とのデモンストレーションを見た感想は・・・スピード・運動量・特殊なルール（ルール自体は簡単）を駆使した戦略とゲーム進行は似て異なる競技のテニスやバドミントンそして卓球に引けを取らない楽しい競技だと実感しました！



エスキートennisは縦8m×横4mのコートでセンターラインに高さ55cmの支柱を使いネットを張り、直径4cm重さ20gの羽根つきのゴムボールを標準サイズ長さ38cm幅17cmの木製のラケットを使用して打ち合います。

シングルかダブルで行い1セット11点の3セットマッチで勝敗が決まります。サーブはコートの後方で手を広げた状態の手のひらにのせ、肩の高さ以下から落としワンバウンドした後に打ちます。サービスは連続5回行い対戦相手と交代する。

ラケットの握り方はシェークハンドでもペンホルダーでも構わない。サーブは相手コートの対角エリア内にワンバウンドしなければならない。その後の返球はノーバウンドでもワンバウンドでも構わない。サービスのネットインはやり直す。サービスの時は全てのプレーヤーはコートの外に位置しサーバーが打球した後でなければコート内に入れない。ラリーは同一人物がノーバウンドを連続して打てない。ダブルスの場合はペアのどちらが打ってもよいがノーバウンドは交互でなければ連続で打てない。

サービス時とラリー時のちょっとしたルールが特殊で、ゲーム性と難しさそして狭い範囲でのプレイに対して運動性に幅を持たせています！



全体での準備体操を終えて各区内でチームを作り、学生連盟の2名の講師からフォアレシーブでのアタック、バックレシーブのアタックを体験。対角線どうしてのサーブ練習。サーブ、フォア、バックともにコート内に返球するのが難しい！

コートの狭さとラケットとボールとの打感感覚を掴むことが難しい！

今回の短い時間では取得できませんでした
(汗)

その後、1セットマッチの練習試合を何度か対戦させてもらいましたが、慣れない打感感覚と意外と速いラリーに体力を削られました(笑)今回、初めてエスキートennisを体験してみてそのゲーム性の面白さとスピード感、狭い競技スペースと使用する競技道具の手軽さ、そして簡単なルールが地域の老若男女に受け入れられそうな楽しめるニュースポーツだと実感しました。



言葉だけでは伝わりにくいスポーツです。ですが楽しい！面白い！は筆者の独断ですがお勧めできます！この記事に興味がある、やってみたいと思われた方はエスキートennis連盟の活動を下記にご紹介させていただきます。

○連盟公式ホームページ 「日本エスキートennis連盟」で検索
○地域において体験会、研修会の開催希望
用具一式の貸出、指導者の派遣 連盟事務局 (E-mail : n@esci.co.jp)

